

経営比較分析表（令和6年度決算）

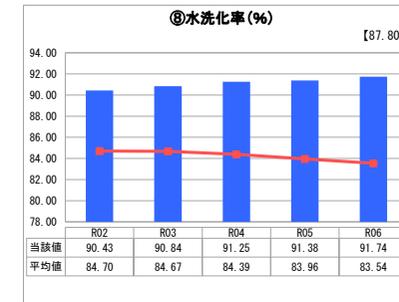
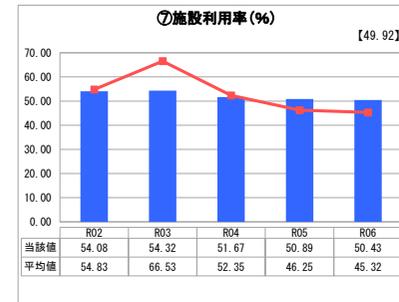
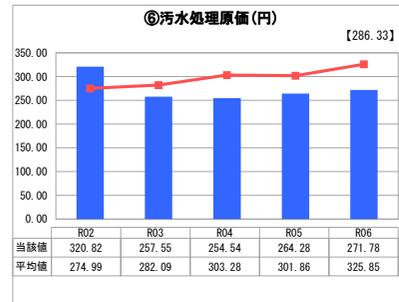
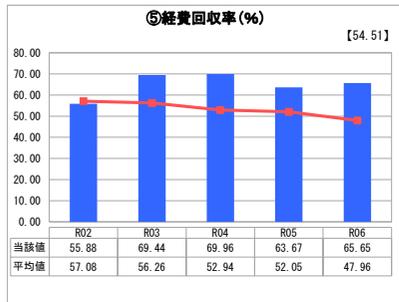
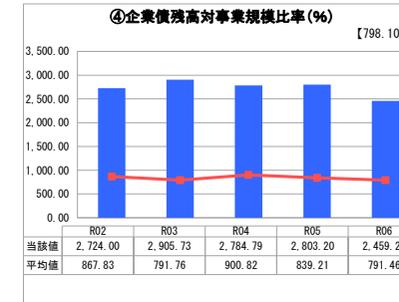
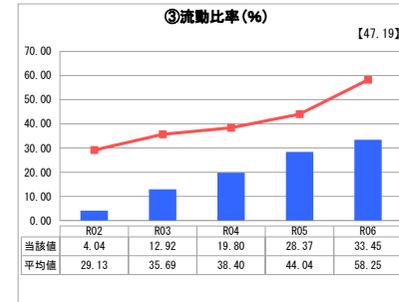
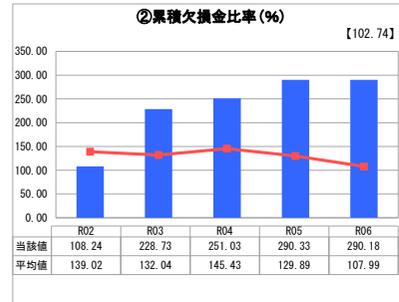
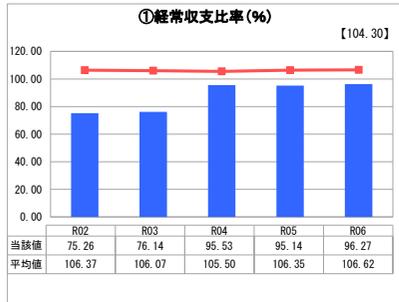
佐賀県 唐津市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	56.76	7.43	91.59	3,300

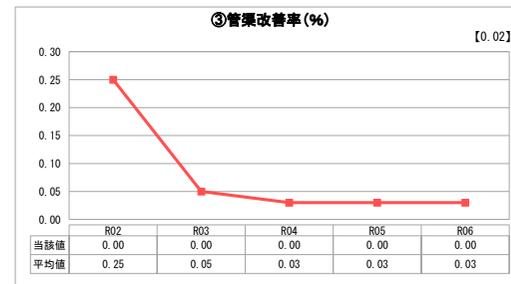
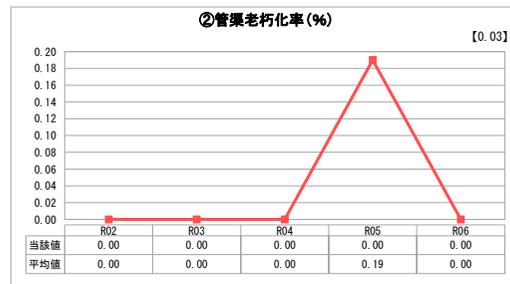
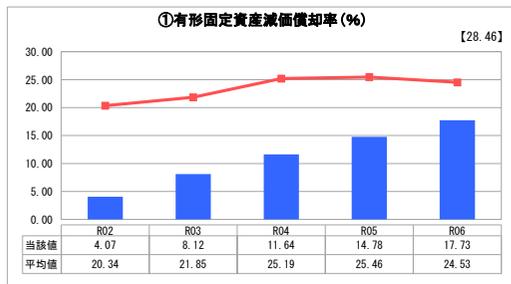
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
113,890	487.58	233.58
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
8,405	3.65	2,302.74

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率については償却資産の減少等による減価償却費の減及び資産減耗費の減により経常費用は減少したものの、経常利益も減少しており、依然として100%を下回っている。
 ② 累積欠損金比率は、前年度より営業収益が増えたことと改善傾向にあるが、依然として類似団体平均値を大きく上回っている。
 ③ 流動比率は、流動負債の減少により前年度から改善したものの、資本費平準化債の借入により企業債元金償還金が減少しておらず、平均値を大きく下回っている。
 ④ 企業債残高対事業規模比率は、企業債の借入上限額を償還元金より低く設定し現在高の減少に努めているが、資本費平準化債の借入により現在高の減少が緩やかになっているため、非常に高い数値を推移している。
 ⑤ 経費回収率について、前年度より数値は上がっているが、前年は使用料減免で大きく下がっているため、汚水処理費の増により数値は悪化傾向にある。
 ⑥ 汚水処理原価は維持管理費の増により、前年度より高い数値となっているが、類似団体と比べるとここ3年程は低い数値で推移している。
 ⑦ 施設利用率については、類似団体と比べやや高い数値となっているが、処理水量が減少したことにより、今年度も減少している。
 ⑧ 水洗化率は平均値と同程度となっている。90%を超えているが、引き続き継続促進のため取り組む。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、企業会計移行からまだ5年程しか経過していないため、平均値を下回っている。
 ② 管渠老朽化率は、法定耐用年数(50年)を経過している管渠はない。
 ③ 管渠改善率は、老朽管がないため更新等は行っていない。今後は、「唐津市農業集落排水施設最適整備構想」に基づき、施設の老朽化対策を計画的に進めることとしている。

全体総括

経費回収率、汚水処理原価、施設利用率については、類似団体と比べわずかによい値となっているものの、経費の増加による資金不足は依然変わっておらず、企業債と繰入金に頼っている状況であり、健全な経営状況とは言えない。
 今後も人口減少などによる使用料収入の減少、施設の老朽化による費用の増加が見込まれるため、長寿命化工事、施設更新時のダウンサイジング等を行いながら、料金改定についても検討していく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。